

洪水浸水想定区域について

洪水浸水想定区域は、兵庫県によって指定、公表されたもので、大雨によって河川堤防が決壊、又は溢水が発生した場合に浸水することが想定される区域と深さを示しています。

浸水深の色の見方

5.0m~10.0m未満	5.0
3.0m~5.0m未満	3.0
0.5m~3.0m未満	0.5
0.5m未満	0

当ハザードマップに示す洪水浸水想定区域の算定に用いられた雨量(想定最大規模降雨)は以下の通りです。
 武庫川流域：511mm/24時間
 東条川流域：788mm/2日

雨の降り方や土地の状態、排水路等がふれることにより、洪水浸水想定区域以外でも浸水するおそれがありますので、十分な注意が必要です。

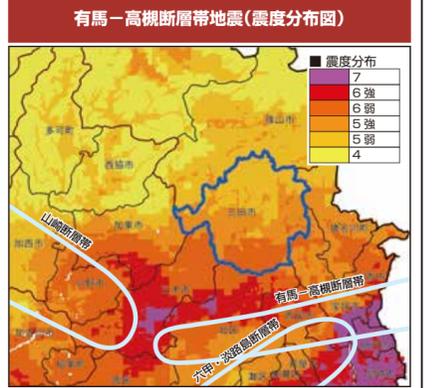
●地震の揺れと想定される被害

震度0	●人は揺れを感じない。
震度1	●屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。
震度2	●屋内にいる人の大半が揺れを感じ、眠っている人の中には目を覚ます人もいる。 ●電灯などのつり下げ物がわずかに揺れる。
震度3	●屋内にいる人のほとんどが揺れを感じ、眠っている人の大半が目覚ます。 ●壁にある食器棚が音を立てることがある。
震度4	●ほとんどの人が驚き、眠っている人のほとんどが目覚ます。 ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、壁にある食器棚は音を立てる。 ●電線が大きく揺れ、自動車を運転している揺れに気づく人がいる。
震度5弱	●大半の人が恐怖を感じ、物につかまらなうと感じる。 ●電灯などのつり下げ物が激しく揺れ、壁にある食器棚、書籍の本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものも揺れることがある。 ●電柱が揺れているのがわかる。道路に被害が生じることがある。
震度5強	●テレビが台から落ちる。固定していない家具が倒れることがある。 ●揺れが強いプロップや乗付が十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難になる。
震度6弱	●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建築物は、互が落下したり、建物に倒れたりすることがある。倒れるものもある。
震度6強	●立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れははらうされ、飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動、倒れるものも多くなる。 ●耐震性の低い木造建築物は、傾くものや、倒れるものも多くなる。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。
震度7	●固定していない家具のほとんどが移動し、飛び出すこともある。 ●耐震性の低い木造建築物は、傾くものや、倒れるものもさらに多くなる。 ●耐震性の高い木造建築物でも、まともに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものも多くなる。

今後30年以内にM8~9クラスの規模の地震が発生する確率が70~80%とされている「南海トラフ巨大地震」が発生すると、兵庫県地震被害想定によれば三田市で最大震度が5強、死者は無く、負傷者11人、全壊1棟、避難者が13人と軽微な想定となっております。

また、三田市周辺には内陸直下型地震を引き起こす「有馬-高槻断層帯」、「六甲-淡路島断層帯」、「山崎断層帯」が分布しており、地震が発生すれば最大震度が6弱から5強揺れることが想定され、甚大な被害を及ぼす可能性があります。

家具の固定や防災備蓄を行うなど防災を意識した生活を普段から心がけましょう。



土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)

土砂災害警戒区域とは、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)

土砂災害警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

急傾斜地の崩壊

イ 傾斜度が30度以上で、高さが5m以上の区域

ロ 急傾斜地の上端から、下端、水平距離が10m以内の区域

ハ 急傾斜地の下端から、急傾斜地高さの2倍(50m)を超える場合は50m)以内の区域

土石流

イ 土石流の発生のおそれのある深流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域

地滑り

イ 地滑り区域(地滑りしている区域または地滑りする恐れのある区域)

ロ 地滑り区域下端から、地滑り地塊の長さ(250m)を超える距離(250m)を超える場合は250m)の範囲内の区域

避難所一覧表

施設名	住所	電話
高平小学校	下里172番地	569-0142

